

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第39回大会 事業報告

- 1 事業名 「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」
- 2 日時 令和4年5月21日（土）～22日（日） ※情報交換会20日（金）
- 3 趣旨 「まちづくり」「ひとづくり」に取り組んでいる関係者が一堂に会し、実践発表を通して相互交流を図る。
- 4 対象 生涯教育・社会教育・生涯学習関係職員・団体等、学校教育関係職員、本大会の趣旨に関心のある方
- 5 研修内容

【1日目…21日（土）】

実践発表（24事例）

- ① 地域の人材獲得・育成のエコシステム〔佐賀県〕
- ② 竹矢のわけもんやらこい！〔島根県〕
- ③ 防災・減災に向けた私たちの取組とその後〔福岡県〕
- ④ おごおりウィークエンドアドベンチャー〔山口県〕
- ⑤ 誰もが安心して平等に住み続けられるまちづくりを目指して〔佐賀県〕
- ⑥ 復活！南部町新☆青年団のおもしろ活動〔鳥取県〕
- ⑦ 新しい生活様式に対応した子どもたちの体験活動の創出事例と、「親になる前の青年層」や「就職氷河期世代」の学びの必要性〔福岡県〕
- ⑧ 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの効果的な仕組づくり〔大分県〕
- ⑨ 「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」〔広島県〕
- ⑩ 太鼓を仲立ちに人づくり！まちづくり！〔愛媛県〕
- ⑪ みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり〔福岡県〕
- ⑫ スポーツによる地方創生〔宮崎県〕
- ⑬ 中高生と社会人の対話による学びを創出する「三四郎の学校」の挑戦！〔福岡県〕
- ⑭ 令和2年7月豪雨における災害支援の連携手法〔熊本県〕
- ⑮ いい出会いは、いい人生をつくる～〔岡山県〕
- ⑯ 熊本地震復興支援活動とSDGs（持続可能な開発目標）の推進〔熊本県〕
- ⑰ 小学校教員発 ～悩めるお母さんを元気にする子育て支援～〔福岡県〕
- ⑱ 若者支援のはちみつ作り「ブンブンプロジェクト」〔沖縄県〕
- ⑲ 歴史遺産を活かした地域づくり〔長崎県〕
- ⑳ 自然と歴史の学びの郷整備・活用〔山口県〕
- ㉑ ロケットと共に ～宇宙にいちばん近いまち南種子町の取組～〔鹿児島県〕
- ㉒ コミュニティ・スクールのその先へ〔山口県〕
- ㉓ 「ながさきファミリープログラム」で学ぶ楽しい子育て〔長崎県〕
- ㉔ 「学校の学び」と「地域の実践」の往還〔島根県〕

特別報告

「気を抜かず、『前期』楽せず、がんばれば、健康寿命は『後期』までもつ —後期高齢者の健康原則—」 三浦 清一郎 氏

大会交流会

参加者や実践発表者、司会者、各県実行委員、ボランティアによる交流イベント



《実践発表の様子》



《大会交流会の様子》

【2日目…22日（日）】

特別企画 『大学・企業』と繋がる社会教育の「未来の必要」

＜第1部＞「生涯教育と企業の連携はいかにして生まれ、

社会教育の未来をどう変えるか？ ～宮崎モデルの可能性～」

登壇者：黒木 政信 氏（一般社団法人ひなたネットワーク会長）

枝元 倫介 氏（株式会社ホテルマリックス会長）

聞き手：三浦 清一郎（月刊生涯学習通信『風の便り』編集長）

大島 まな（九州女子大学教授）

＜第2部＞「大学と自治体が始めた『地域連携協定』は、

両者に何を生み、どう変えるのか？」

登壇者：門司 晋 氏（福岡県岡垣町長）

山田 明 氏（九州共立大学教授）

聞き手：森本 精造（元飯塚市教育委員会教育長）

古市 勝也（九州共立大学名誉教授）



《特別企画の様子》



《質疑応答の様子》

本大会は、コロナ禍によって延期されておりましたが、3年ぶりに対面による開催（一部、登壇者と会場をオンラインでつなぐ実施）となりました。感染対策を徹底しながら、参加者の皆様に学びの機会・場を提供できたことは大きな成果となりました。例年、実践発表数は28事例のところを、本大会は24事例に縮小しましたが、いずれの発表者も熱量が大きく、どの会場も熱気に満ち溢れていて、本大会名のとおり生涯教育・社会教育についての実践を交流するよい機会になりました。

参加者からは、「大変貴重な学びの機会でした。ウイズコロナで開催していただき有難かったです。」「高齢者の生きがい大切であることを改めて認識することができました。」「企業との連携はとても効果的だと感じました。是非、宮崎に学びながら取り組みたいです。」「特に自治体が大学と連携して様々な取組をしていくことは有意義だと感じました。」という感想が聞かれました。

次回は、節目となる40回大会になります。今回、無事に開催できたことは、次回大会への大きな自信になり、弾みにもなりました。